

蛍光樹脂塗料

【蛍光材】 + 【高耐候透明ウレタン樹脂】により、**屋内外対応の蛍光塗料を実現**



トンネル壁面へ蛍光樹脂塗料を塗布してブラックライトを照射して、トンネルの単調な景観へアクセントを付けることで、ドライバーに対する漫然運転の防止が期待できます



コンクリートブロックに塗料を塗布してブラックライトを照射した状況

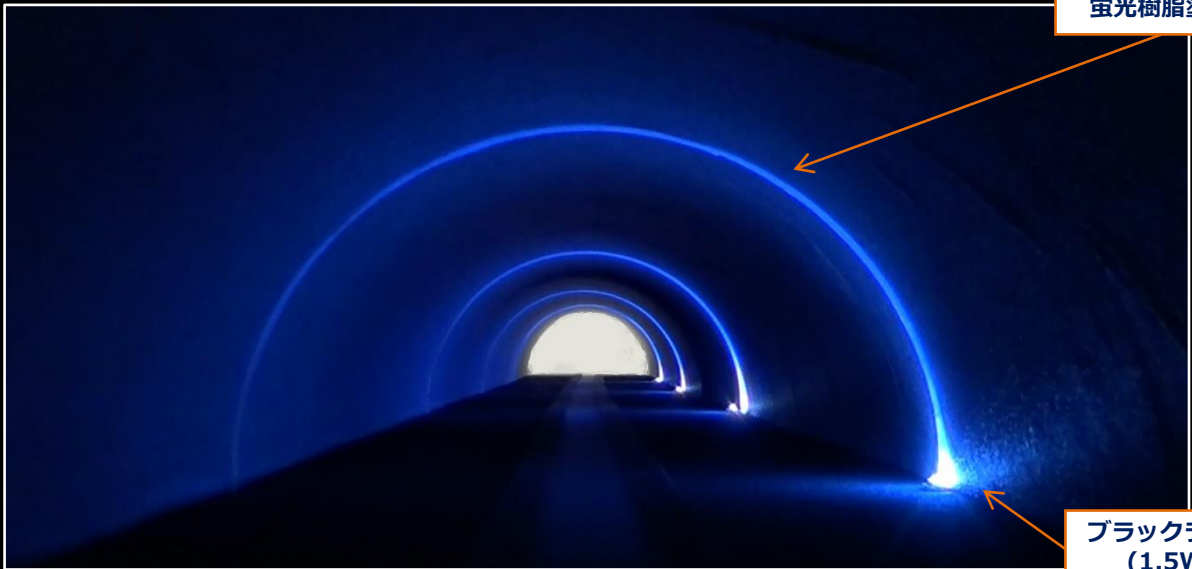
本製品の特長

- 1 高い付着性能でコンクリート、ガラス、樹脂、鋼材等、あらゆるものに塗布可能です。
※“JIS A6909 建築用仕上塗材”付着強度0.5N/mm²以上をクリア
- 2 一液硬化型のため混合工程が不要です。
- 3 40年の高耐候性を発揮する樹脂溶剤を使用しています。
※サンシャインウェザーメーター8000時間後も変色・クラック等の変化無し
- 4 高い防水性と表面保護効果により劣化防止対策として使用可能です。
- 5 柔軟性があり、強靱なフィルム物性を有します。
- 6 耐寒性・耐熱性を有します。



縮尺模型での視認性の確認

蛍光樹脂塗料



ブラックライト (1.5W)

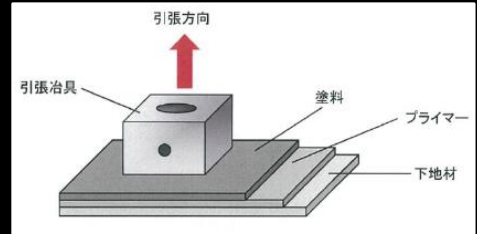
付着性試験結果

試験条件：JIS A6909 建築用仕上塗材準拠

被着体	処理条件 常態	処理条件 水浸漬	処理条件 加熱
モルタル	◎	◎	◎
溶融亜鉛めっき鋼板	○	○	○
ポリカーボネート	○	○	○
塩化ビニル	○	○	○
ガラス	◎	◎	◎
ゴム	○	○	○

※JIS A6909 建築用仕上塗材 について
各種処理を行った後、引張治具を接着剤で取り付けます。引張治具の周囲は被着体に達する深さまで切り込みを入れます。引張治具を装着した試験体を引張試験機にセット後、引張強度3mm/minで測定し、付着強度及び破壊状況を記録します。なお、破壊状況は剥離面の割合を目視で評価します。

外装薄塗材 0.5N/mm²以上
防水形薄塗材 0.7N/mm²以上
外装厚塗材 0.5N/mm²以上 と規定されています。



塗布工程



前処理 (塗装面の清掃など)



塗装範囲の決定



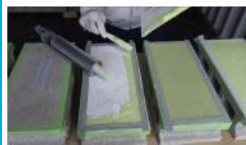
マスキング処理



下地処理 (プライマー塗布)



型枠 (バックカー) 取付



塗料注入 (型枠外周を均す)



塗料注入



塗料注入 (全体的に均す)



(刷毛塗りの場合)



必要に応じてスクレーパーを用いて塗膜厚さを調整



塗装完了



型枠・マスキング撤去



作業完了 (養生)